

マインドセットの柱17

【振り返り】 コア・パーソナル・プロジェクト



■著作権について本冊子と表記は、著作権法で保護されている著作物です。本冊子の著作権は、発行者にあります。本冊子の使用に関しましては、以下の点にご注意ください。

■使用許諾契約書本契約は、本冊子を入手した個人・法人(以下、甲と称す)と発行者(以下、乙と称す)との間で合意した契約です。本冊子を甲が受け取り開封することにより、甲はこの契約に同意したことになります。

1. 本契約の目的: 乙が著作権を有する本冊子に含まれる情報を、本契約に基づき甲が非独占的に使用する権利を承諾するものです。

2. 禁止事項: 本冊子に含まれる情報は、著作権法によって保護されています。甲は本冊子から得た情報を、乙の書面による事前許可を得ずして出版・講演活動および電子メディアによる配信等により一般公開することを禁じます。特に当ファイルを第三者に渡すことは厳しく禁じます。甲は、自らの事業、所属する会社および関連組織においてのみ本冊子に含まれる情報を使用できるものとします。

3. 損害賠償: 甲が本契約の第2条に違反し、乙に損害が生じた場合、甲は乙に対し、違約金が発生する場合がございますのでご注意ください。

4. 契約の解除: 甲が本契約に違反したと乙が判断した場合には、乙は使用許諾契約書を解除することができるものとします。

5. 責任の範囲: 本冊子の情報の使用の一切の責任は甲にあり、この情報を使って損害が生じたとしても乙は一切の責任を負いません。

コア・パーソナル・プロジェクトのワーク
お疲れさまでした！

今回のワークの質問には
コア・パーソナル・プロジェクトに繋がる
要素がたくさん眠っています。

簡単に解説していきますね。

Q1. 子供の頃に大好きだったこと

子供の頃は先入観なく
やりたいことをやろうとしますよね。

そこにあなたの
基本的な欲求のヒントがあります。

今も好きだと思っていることの本质は
子供の頃の興味と共通していたりします。

Q2. 興味を持っている仕事

上記Q1では過去にフォーカスしましたが、
ここでは現在の興味を書きましょう。

子供の頃よりも現実的に
欲求を深掘りしていくパートです。

Q3. 羨ましいと感じる事や人物

何かに嫉妬することは
一見良くないことに思えますが

裏を返せば自分もそうになりたいという
素直な欲望の裏返しです。

嫉妬心を感じるということのは
あなたもそうでありたいということ。

嫉妬心からも

コア・パーソナル・プロジェクトの
ヒントを得ていきましょうね。

せっかくなので、参考までに
過去の僕の回答を載せておきます！

ワークがまだの場合は
先にやってみてから目を通してください(^^)

Q1. 子供の頃に大好きだったこと

- ・好きな食べ物を食べること
→ 食の喜びや素晴らしさを人一倍理解できる。
- ・変わった形の石集め（笑）
→ 感性が豊か？だったのかも。
- ・テレビゲーム
→ ひとりが苦にならない性格。
- ・ネットスポーツ（テニスとか）
→ 一対一が自分の性分に合ってるのかも。

Q2. 興味を持っている仕事

- ・心理カウンセラー
- ・キャリアコンサルタント（働く人のサポート）
- ・在宅ワーク
- ・何かを教える仕事
- ・多くの人と関わらない仕事
- ・やりがいを感じられる仕事
- ・人に喜んでもらえる仕事
- ・お金に困らない仕事
- ・1人で黙々と取り組める仕事
- ・人の感謝を実感できる仕事

Q3. 羨ましいと感じる事や人物

- ・ 人付き合いに悩まず自分らしく生きている人
- ・ 何でも人並みにソツなくこなせてしまう人
- ・ 心から好きと思える仕事ができている人
- ・ 人の心を良い意味で動かせる（影響力のある）人
- ・ 欲しい物を好きなだけ変えるお金の余裕がある人

★これらの回答を自由自在に組み合わせてみると、新たな発見があるかもしれません。

例えば僕の例で言えば、
Q1の好きな食べ物を食べることと
Q2の人の感謝を実感できる仕事

を組み合わせ、
レストランやカフェでのお仕事など。

こんな感じで、

あなたなりのオリジナルアイデアを
ぜひ考えてみてくださいね(^^)